

新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たに下記の項目が受託可能となりましたのでご案内いたします。
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

記

■実施日 令和4年3月31日(木) ご依頼分より

■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲(単位)	検体量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料	判断料	備考
7960-05	尿中コルチゾール	CLIA	4.3~176 (μ g/day)	蓄尿 5.0	Y	冷蔵	2~7	127	144 (生化)	※ 下記 参照

※ 非抱合型コルチゾールの測定となります。

■受託中止項目

令和4年3月30日(水)依頼分をもって受託中止とさせていただきます。

総合検査案内頁	項目コード	検査項目	検査方法	備考
p34	2041-05	コルチゾール	RIA固相法	試薬発売中止のため

詳細については裏面をご覧ください。

● 尿中コルチゾール

下垂体から分泌される ACTH の刺激を受けて、副腎皮質束状層より分泌される分子量 362.5 の糖質コルチコイドで ACTH との間にフィードバック関係がある。血中の 90%以上が蛋白との結合型として存在し副腎、肝、腎で代謝を受け、グルクロン酸抱合を受けて、尿中に排泄される。血中半減期は、1.4~3 時間とされている。副腎皮質機能を知るために行う検査で、原発性(副腎性)、続発性(視床下部性または下垂体性)を含めた副腎皮質機能不全症や、コルチゾール過剰症であるクッシング症候群の診断の指標として有用である。

▼疾患との関連

クッシング症候群、グルココルチコイド不応症、甲状腺機能亢進症(肥満、妊娠後期)、ACTH 単独欠損症、ACTH 不応症、Addison 病、下垂体機能低下症、原発性副腎皮質機能低下症、先天性副腎皮質過形成、続発性副腎皮質機能低下症、慢性腎不全

▼関連する主な検査項目

副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)